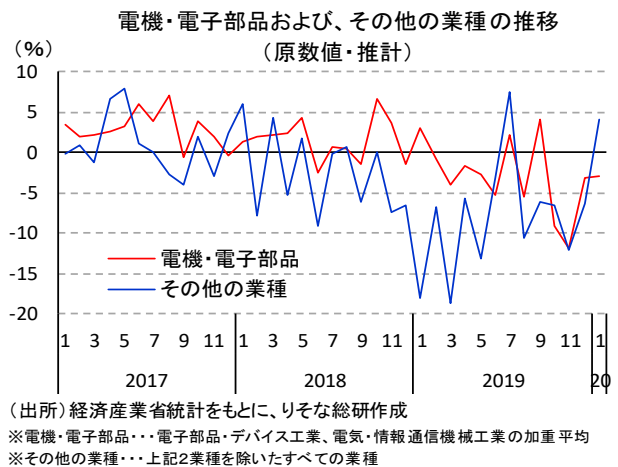
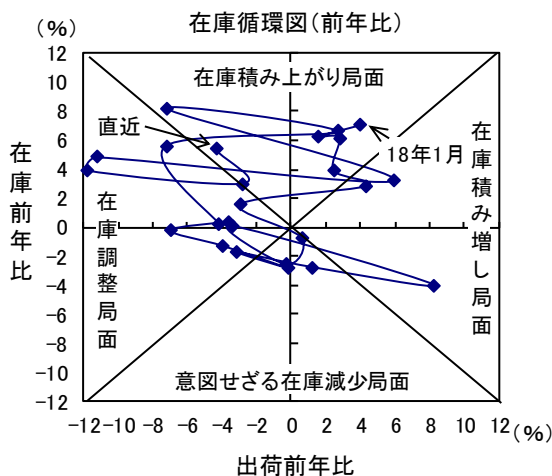
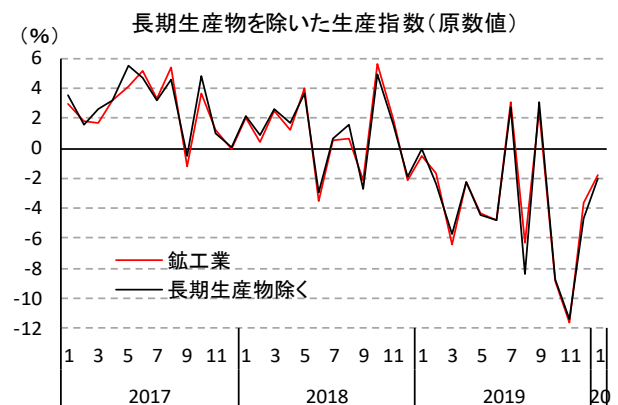
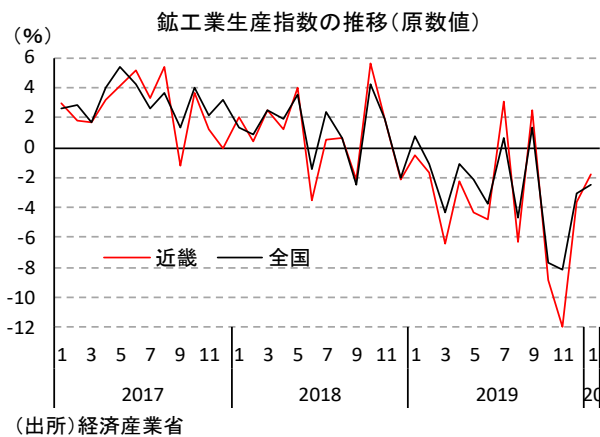


関西の景気トピックス【鉱工業指数（20年01月）】

- 20年1月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は4か月連続の減少となった。機械関連に加えて、鉄鋼関連の減少が目立っている。一方、蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、3か月連続の減少となっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月の「在庫調整局面」から、需要が企業予測を下回り、在庫が積み上がってしまう「在庫積み上がり局面」に転じている。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、1月は電機・電子部品が4か月連続で減少となっている。米中貿易摩擦の影響が続く中、足元では5G関連の動きも本格化しつつあるが、2月以降は新型コロナウイルスの感染による影響が出てくるため、今後の動きが注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。

本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL:070-6633-0038 mail:hd-araki@rri.co.jp